

大正期以降における高等女学校数学教育の充実

——史料に見る実際の教育課程——

Enhancement of Mathematics Education in Girls' High Schools after the Taisho Era

——Actual Curricula as seen in Historical Records——

谷 有 加

Yuka TANI

(和歌山大学教育学研究科)

片 岡 啓

Kei KATAOKA

(和歌山大学教育学部数学教室)

2012年10月5日受理

1. はじめに

筆者は高等女学校の制度史を振り返り、大正8(1919)年に設立された日本中等教育数学会における議論の変遷を分析した¹⁾。その中で大正8(1919)年以降、高等女学校における数学教育は「内容の高度化」と「実用性の重視」を目指していることを明らかにした。本稿では、実際にどのように教授要目が運用され、指導されていたのかを学校における教育課程を見ることで検討していく。

こうした分野の先行研究としてまず、佐藤英二が挙げられる²⁾。佐藤は、明治36(1903)年の教授要目の制定以前と以後の数学教科書を比較し、教授要目の制定によって高等女学校用の数学が作られる際に働いたメカニズムについて考察している³⁾。「算術」「代数」「幾何」の種類別に考察することで、明治36年教授要目が「中学校に対する数学の水準の低度化」をもたらしたことを特徴として挙げている。

次に大正9(1920)年の高等女学校令の改正によって、高等女学校の数学の変化を考察したものに櫻井恵子が挙げられる⁴⁾。櫻井は、江原絢子⁵⁾の挙げた学科課程表から数学の部分を抜き出したものを用いて高等女学校の数学教育の実際について考察している。

全25校を1900～1942年まで考察し、時代が経つにつれて、①全体的に数学の時間数が増えている、②代数、幾何の指導が増加している、と分析している。これらの変化について櫻井は「この発展の契機には1920年の高等女学校令施行規則改正がある」と述べている。

佐藤、櫻井は明治36年教授要目、大正9年高等女学校令の改正前後の変化について言及しているが、ここでは、昭和17(1942)年の教授要目の制定前後を加えて考察していきたい。

2. 教育内容の制定的経過

明治34(1901)年に発布された高等女学校令施行規則における第七条の数学の目標「数学ハ数量ノ関係ヲ明ニシ計算ニ習熟セシメ兼ネテ生活上必要ナル事項ヲ知ラシメ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス 数学ハ

算術ヲ授ケクヘシ又学校ノ修業年限ニ応シ代数ノ初歩及平面幾何ノ初歩ヲ授クルコトヲ得」を受けて、明治36(1903)年に初めて高等女学校の教授要目が表1のように制定された⁶⁾。

表1 明治36年 高等女学校教授要目(数学)

第一学年	算術 整数及小数、諸等数、分数、比及比例
第二学年	算術の続き 整数、分数、比及比例、割合
第三学年	算術の続き 比及比例、割合、開平
第四学年	算術の続き 代数 幾何

算術中心の学習で、「代数ノ初歩及平面幾何ノ初歩ヲ加フルトキハ次ノ例ニ依リテ之ヲ授クヘシ」と記されており、代数、幾何の学習を行う際には、最終学年で行うように述べられている。

教授要目は明治44(1911)年に改正された。分数や割合、開平などが上の学年に送られ、代数と幾何の記述も簡略になって、全体に内容が引き下げられた⁷⁾。

その後大正9(1920)年高等女学校令が改正された。このとき明治32(1899)年に定められた高等女学校令第一条の目的が改正され、「高等女学校ハ女子ニ須要ナル高等普通教育ヲ為スヲ以テ目的トス」という元来の目的に加えて、「特ニ国民道徳ノ養成ニカメ婦徳ノ涵養ニ留意スヘキモノトス」という女子教育としての目標が付け加えられた。さらに指導の内容についても改正が行われた。数学においては、その目標から「ノ初歩」の部分が削除され、「数学ハ算術ヲ授クヘシ又学校ノ修業年限ニ応シ代数及平面幾何ヲ授クルコトヲ得」(高等女学校令施行規則第七条)とされた。

このとき教授要目は改訂されず、ようやく改訂されたのは約30年後の昭和17(1942)年であった。中等学校制度の改編に伴って昭和18(1943)年には修練及び指導要目が制定され、数学の学習内容の変更が重ねて行わ

れた。昭和17(1942)年の改正の際には大正8(1919)年から日本中等教育数学会にて議論されてきた事柄を反映して、総合的教授要目が定められた。総合的教授要目とは、今まで「算術」「幾何」「代数」と数学の教科内容を分けて掲載し、授業も分けて実施していたのに対して、3科の内容を分けることなく掲載し、実施するよう挙げた教授要目のことをいう。昭和17(1942)年に改正された教授要目の記載項目は表2のとおりである⁸⁾。

表2 昭和17年 高等女学校教授要目(数学)(5年制用)

第一学年	数量と式, 図形の書き方
第二学年	図形の合同, 図形の移動と回転, 正・数・負数, 一次方程式
第三学年	分数式, 平行と相似, 平方と平方根, 直角三角形, 二次方程式
第四学年	円と球, 自然数と級数, 系列の観察処理, 投影図
第五学年	連続的変化の考察処理, 統計図表の考察, 日用諸算

明治36(1903)年のもの(表1)と比較すると、「算術」「幾何」「代数」といった教科の名前が削除され、たとえば幾何の内容「図形の書き方」が第1学年、代数の内容「自然数と級数」が第4学年において学習するように示されている。数学の学習の進め方が大きく変更され、3年生以上にならないと扱わなかった幾何、代数などの内容を早い段階から学習するようになったことが分かる。前述したとおり昭和17年の教授要目(表2)が実際にどのように運用されていたのかについても、ここでは検討する。

3. 実際の学科課程の調査

櫻井のものに加えて本稿ではできる限り史料の数を増やし、大正期以降の教育課程の変化について詳しく検討していく。調査した教育課程は、以下のような方法による計152点である。

- (0). 櫻井によるもの25点
- (1). 各学校で作成される「〇〇高等女学校一覧」などを多数閲覧できる国立国会図書館近代デジタルライブラリーにて59点
- (2). 地元の史料を多く保存している和歌山県立公文書館にて62点
- (3). 附属高等女学校の史料の閲覧できる奈良女子大学附属図書館にて4点
- (4). 『高等女学校史料集成』⁹⁾や地域の学校の周年行事などから得たその他2点

たとえば図1は、(3)において閲覧した大正1(1912)年「奈良女子高等師範学校附属高等女学校一覧」である。学科課程については、図2のように記されている。図



図1 奈良女子高等師範学校附属高等女学校一覧表紙

理科	数学	地理	歴史
二	二	三	三
動物	算術	附日本	日本
二	二	州東	地理
生理及衛生	前	州東	史
二	前	州東	史
植物、動物	年	州東	史
二	年	州東	史
物	前	世界	外国
理	年	地理	歴史
学	年	二	二
二	幾何	世界	外国
前	初歩	地理	歴史
年	二	概説	現代
積	積	二	史

図2 学科課程表(数学部分抜粋)

2を見ると、当時奈良女子高等師範学校附属高等女学校は4年制の高等女学校であり、各学年2時間で、1~3年生までは算術を学習し、4年生で幾何初歩も取扱うようになったということが分かる。

このような史料をもとに各学年教授内容及び授業時間数、加えて記載年度、該当高等女学校名を整理したものを文末表Aに、記載史料名と前掲の調査の方法0~4を一覧にしたものを文末表Bに示した。

櫻井は当時一般的に数学を3教科に分けて分科的に扱っていたことを参考に「算術」「代数」「幾何」の3つの科目名を用いて検討している。ここでも全体的な流れを経年的につかむためにこの3つの科目に分類し、各学年の学習において該当科目が占める割合(以下これを占める割合と呼ぶ)が時代と共にどのように変化してきたかを表Aに基づいて分析する。

たとえば、ある学年の「代数」の扱いがどのような増減をたどったのかを、表Aにある「代数」の個数の相対度数で表すのである。

表Aの中には表3のように数学における科目名を記

した形式のものと表4のように内容をやや詳しく書いたものがある。相対度数にするときは、表3のような表記のものはそのまま活用し、表4については内容に基づいておおよそ3科目に分類して検討する¹⁰⁾。

表3 科目名を示したもの

1931(昭和6)年	
学校名	東京女高師附属高女
1年	算術
2年	代数, 幾何
3年	代数, 幾何
4年	代数, 幾何
5年	幾何, 三角初歩, 数学概論

表4 内容を詳しく示したもの

1901(明治34)年	
学校名	東京女高師附属高女
1年	整数, 小数, 分数, 比例
2年	比例, 百分算
3年	百分算, 雑題
4年	代数初歩
5年	幾何初歩

表Aで、ある学年に複数の科目がある場合、それぞれの程度の割合で行っていたかは定かではないが、1学年につき2科目の場合はそれぞれ0.5, 3科目の場合は代数, 幾何, 算術をそれぞれ1/3として相対度数を算出し、グラフ化することとした。たとえば表3の2年生は代数0.5, 幾何0.5とし、表4で1, 2, 3年生はそれぞれ算術1として計算した。

期間の区分について、本稿においては高等女学校の制度ではなく、科目名の学年配当に焦点をあてているため、初めて学習内容が規定された時期から、以下のように分けて考える。

- ①明治36年教授要目制定以前(-1902年)
- ②明治36年教授要目制定以後(1903-1919年)
- ③大正9年高等女学校令改正以後(1920-1941年)
- ④昭和17年教授要目改正以後(1942年-)

時期によって史料数の偏りもあるため、あくまで大まかな変化の傾向として考察を行う。

4. 結果とその分析

前述の方法をもとに、全ての学年を通して、算術, 幾何, 代数の占める割合を相対度数で算出し、グラフ化したのが図3である。グラフの系列は前述の期間区分に応じて、①~④としている。グラフより、すべての学年を通して見ると教授要目の制定以前は、算術の占める割合が67%であったことが分かる。しかし教授要目の制定以後、算術の占める割合は73%と増加し、わずかではあるが幾何, 代数の占める割合が減少して

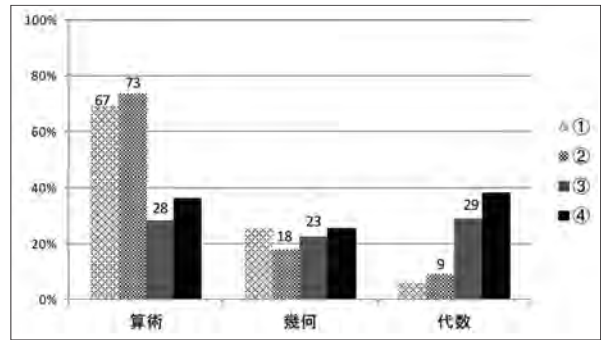


図3 全体の学習量の変化

いることが分かる。佐藤が述べていた「中学校に対する数学の水準の低度化」¹¹⁾について、中学校に対する比較でないものの、学習内容の低度化を数値にて確認することができる。

また、櫻井の述べている大正9(1920)年高等女学校令改正以降の内容の高度化についても確認することができる。高等女学校令改正によってすべての学年を通して見たときの算術は73→28%, 幾何18%→23%, 代数9%→29%と変化し、算術が減少, 幾何, 代数ともに増加している。

加えて、④の時期に算術が減り, 代数が増加するなど、昭和17年教授要目の改正によってもさらに数学の学習内容の高度化を進めていることが分かる。

全体としての大まかな流れはこのグラフより読み取ることができる。以下では、各学年における変化を図4~図8を用いて考察していく。

5. 学年別の教育課程の変化

図4に示したように、1年生では算術を重点的に行うことは経年で比較しても基本的に変わらない。しかし、③の高等女学校令の改正以後、算術に加えて代数を行い始めた学校があることが分かる。

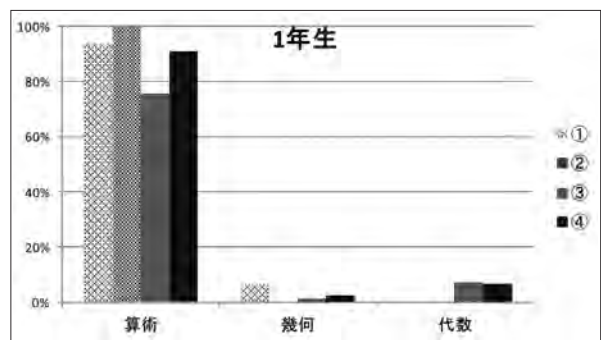


図4 1年生の学習量

2年生において、大正9(1920)年の高等女学校令改正以前(①②)は算術を中心に学習を行っていることがよく分かる(図5参照)。しかし③の大正9(1920)年高等女学校令改正を機に算術の占める割合が激減し, 代数の占める割合が42%, 幾何の占める割合が10%まで

増加した。内容の程度を高める変化は2年生から顕著に表れている。

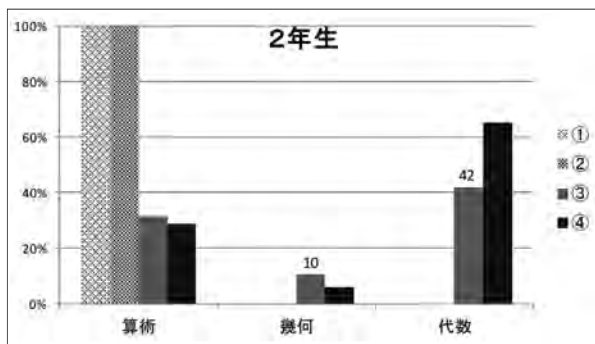


図5 2年生の学習量

3年生においても大正9年高等女学校令改正までは2年生同様算術中心の学習を進めていた。しかし図6を見ると、③の高等女学校令改正にて2年生で取り入れられた代数、幾何の学習がなお押し進められていることが分かる。代数の占める割合は50%、幾何の占める割合は28%と、2年生同様大きく増加した。

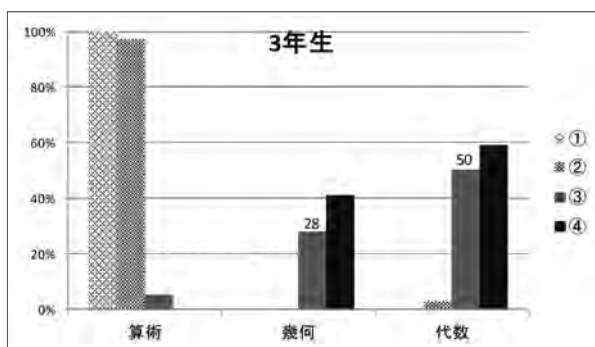


図6 3年生の学習量

教授要目の制定以前は3年生までは算術ばかりを行っていたのに対して、当時4年制を基本とする制度の中で最終学年である4年生では算術50%、幾何21%、代数29%と学習し、偏りなく最終学年として多くのことを学ぼうとしていたことが図7より分かる。このことは高等女学校ノ学科及其程度ニ関スル規則第三条中の「幾何ノ初歩又ハ代数ノ初歩ヲ授クル」という記載に従って行われている。

②の明治36年教授要目の制定による変化を確認してみると、1～3年生同様算術に変化はなく、幾何、代数についても①の時期と変化はなかった。佐藤はこの教授要目によって学習内容の統制が行われたとしているが、そのことは学課課程表では確認することはできなかった。

その後、③の高等女学校令改正を受けて、幾何40%、代数52%と増加し、①の教授要目制定以前よりも高度化したことが見てとれる。

図8で5年生においては、①の教授要目制定以前で幾何が100%を示している。当時5年制の高等女学校は

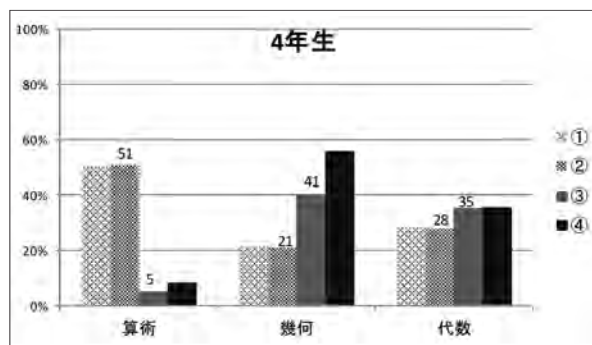


図7 4年生の学習量

極めて稀であった。このとき5年生を検討できる史料が2点のみであり¹²⁾、その2点ともが幾何だけを学習する項目となっていたためである。したがって、明治36年教授要目の制定による変化を考察することは難しい。昭和17年教授要目が制定されるまでは、幾何の学習を減らし、代数の学習を行っていかうとしていたことが分かる。しかしどういいうわけか、④の昭和17年教授要目では幾何の割合がさらに減少し、算術と代数の学習を行う割合が多くなっている。

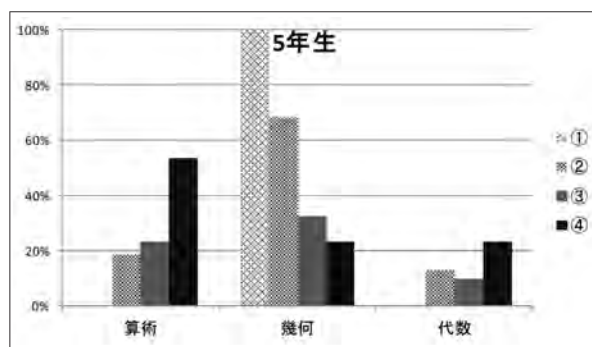


図8 5年生の学習量

以上の考察より、②の高等女学校令改正以後1年生では算術を中心に行い、2年生で算術・代数、3年生で代数・幾何、4年生で代数・幾何、5年生で算術・代数・幾何を学習するという学習順序が定着してきたことが分かる。

最後に授業時間数の変化も検討する。図9は各期間

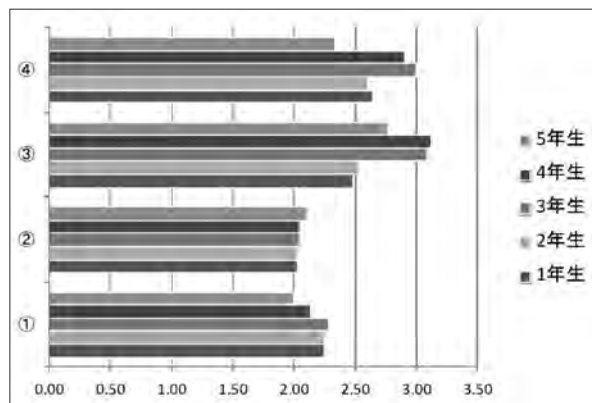


図9 平均の授業時間数の変化

区分における週あたり授業時間数の平均の変化をグラフにしたものである。

規定の上では、期間①②は全学年2時間、期間③④では1～3年生が2時間、4、5年生は3時間の学習時間と定められている。①の時期には平均して2時間をやや上回っていたが、②の明治36年教授要目によって授業時間数がほぼ2時間ずつに揃えられ、授業時間が抑制されたことが見て取れる。一方、③の大正9年高等女学校令改正以降、1、2年生でおよそ2.5時間、3年生では3時間を超えるなど、授業時間数は大幅に増加した。この時期における内容の高度化が授業時数にも反映したことが読み取れる。

6. 昭和17年教授要目の改正による変化

前述したように算術、幾何、代数の内容を分けることなく掲載し、実施するよう示したのがこの昭和17年教授要目の特徴であった(表2)。大正期以降の議論を反映し、内容の高度化と実用性の重視を目指して行われた改訂である。昭和18年教授要目も同様の趣旨を受け継いで制定されていると考えられる。

しかし昭和17年教授要目、昭和18年教授要目を受けて実施されたと考えられる昭和17年和歌山県立橋本高等女学校、昭和19年奈良女子高等師範附属高等女学校の学科課程表を見ると、「数量と式」や「自然数と級数」など新しい要目に相当する項目の表記が見当たらない。2校はそれぞれ表5のように記されており、その他の学校も従来とあまり変わらない書き方である。昭和17、18年の要目がどのように実施に移されたのか、今のところ詳細は不明である。ただ、昭和17年の修徳高等女学校の4年生の表記に「実用数学」という記載がある(表6)。どのような学習内容のことを指すのか不明ではあるが、総合的教授要目の趣旨を踏まえた内容がうかがわせるとも考えられる。

表5 昭和17、18年教授要目による学科課程表例

	昭和17(1942)年 県立橋本高女	昭和19(1944)年 奈良女高師附高女
第一学年	算術, 珠算	算術
第二学年	算術, 代数	算術, 代数
第三学年	代数, 幾何	代数
第四学年	幾何, 代数	代数, 幾何
第五学年		幾何, 算術

表6 修徳高等女学校学科課程(史料番号148)

昭和17 (1942)年	修徳高等女学校
第一学年	算術, 代数, 珠算
第二学年	算術, 代数
第三学年	代数, 幾何
第四学年	代数, 幾何, 実用数学

昭和17、18年教授要目の実施状況について、中学校と比較してみる。男子の中学校の教授要目も昭和17(1942)年、昭和18(1943)年に改訂された。この教授要目は高等女学校の教授要目と同様に、代数、幾何などを分けて記さない総合的教授要目である(表7)。

和歌山県においてもこの教授要目を受けて、中学校では新しい要目に沿った教育課程を作成していたことが、図10の『昭和十七年 学則(和歌山県)』¹³⁾で確認することができる。いくつかの例を挙げる。

表7 昭和17年 中学校教授要目(数学)

	第一類	第二類
第一学年	統計的処理 文字の使用と公式 正数, 負数 一次方程式	測量, 測定 図形の書き方 図形の合同 図形の対称と回転
第二学年	整式 分数式 平方と平方根 二次方程式	平行と相似 直角三角形 円と球
第三学年	多項式 不等式 対数	軌跡 円運動と三角関数 三角形と三角関数
第四学年	個数の処理 自然数と級数 系列の観察処理 連続的变化の考察処理	投影図及透視図 球面上の図形 図形の切断
第五学年	関数の変化 統計図表の考察	円錐曲線 力と運動との考察



図10 『昭和17年学則』

図11は、昭和17(1942)年県立耐久中学校の学科課程表である。「統計的処理」、「正数、負数」など、昭和17年の教授要目どおりの項目が並んでいる。ここで「第一類」、「第二類」と分けて掲載はないものの、教授要目の学習項目を、算術、幾何、代数の区別をしないで具体的に掲載している。また、図12は昭和17(1942)年県立海草中学校における学科課程表である。資料が損傷しているため欠落部分があるが、2年生を示す2段目に「第二類」の記載があり、1段目には「測量、測定」、「図形の書き方」など1年生の第二類の項目が列記されているなど昭和17年教授要目に基づく記載であることが容易に分かるのである。

このように、実際に中学校では数学を分科的に扱わない総合的教授要目を適応していたことが確認できる。なぜ、高等女学校において各年代に該当する教授要目

図11 昭和17年耐久中学校学科課程(数学)

図12 昭和17年海草中学校学科課程(数学)

が実施されなかったのか、それとも実施したが表記が異なっているのかなどについては、より詳細な調査が必要である。

7. まとめ

高等女学校令の改正(大正9(1920)年)によって、算術中心の学習であったのに対して、代数、幾何が入れられていったことを櫻井よりも史料数を増やして、確かめることができた。一方拙稿¹⁾では、大正8(1919)年創立の日本中等教育数学会における、高等女学校の数学教育をめぐる議論を検討し、高等女学校の数学においては内容の高度化と実用性の重視を目指していたことを明らかにした。内容の高度化の部分については、今回徐々に進行していったことを確認することができた。高等女学校令が初めて制定された明治32(1899)年以降、女子教育、さらには女子の数学教育はより豊かな教育を行っていこうと進化し続けていたことの一部が読みとれた。今後、この進化がどのように集大成として形づくられ、高等女学校の数学教育が終焉をむかえたのか、特に実用性の重視がどのように実現されようとしていたのかについて、教科書の検討などを通して確認していきたい。

(注)

- 1) 谷有加「日本中等教育数学会における高等女学校の数学教育をめぐる議論」、『和歌山大学学芸』第58号, 2012年, pp.73-81
- 2) 佐藤英二『近代日本の数学教育』, 東京大学出版会, 2006年, pp.124-146
- 3) 本稿では以後、明治36年教授要目と記載した場合、明治36(1903)年に制定された教授要目、昭和17年教授要目と記載した場合は昭和17年に制定された修練及び指導要目を指すこととする。
- 4) 櫻井恵子「学科課程表にみる戦前期の女子数学教育」、『第32回数学教育論文発表会論文集』, 1999年, pp.149-154
- 5) 江原絢子『高等女学校における食物教育の形成と展開』, 雄山閣出版, 1998年, pp.96-98
- 6) 文部省調査部『高等女学校関係法令の沿革』, 昭和16(1941)年による。
- 7) 『高等女学校及実科高等女学校教授要目』教育品研究社発行, 明治44(1911)年による。
- 8) 修業年限3か年, 4か年のものについても5か年の表を閲覧しながらどのように学習するかについての記載がある。
- 9) 高等女学校研究会『高等女学校史料集成 第九巻』, 大空社, 1989-1990年
- 10) 内容をやや詳しく書いた項目は、算術については、林鶴一『新撰女子算術教科書[上, 下巻]』(大正5.11.30, 東京開成館)などを参考に、整数及び諸等数, 珠算, 比及び比例, 歩合算, 開平, 求積, 筆算を算術の学習に含めた。「代数」「幾何」の内容と考えられる詳細な記載項目はなかったため、分類方法については考えないものとする。
- 11) 前掲2), pp.140-141
- 12) 表Aの5番, 8番の東京女子高等師範学校附属女学校である。
- 13) 和歌山県立文書館所蔵。他の年度のもの確認されていない。

表A：学科課程と授業時間数

史料番号	年代	学校名・法令	第一学年	時数	第二学年	時数	第三学年	時数	第四学年	時数	第五学年	時数	
M 28	1895	高等女学校規程ニ関スル説明	筆算 整数の加減乗除	2	筆算 整数分数小数の加減乗除	2	筆算 同 比例	2	筆算 比例	2	筆算 百分算	2	
M 32	1899	高等女学校ノ学科及其程度ニ関スル規則	珠算 加減乗除	1	同	1	同	1	筆算 百分算 珠算 加減乗除	2			
1 M 33	1900	青森県立第一高女	算術, 珠算	3	同	3	同	3	同	3			
2 M 33	1900	千葉県	算術	2	算術	2	算術	2	算術, 珠算	2			
3 M 34	1901	長野県松本市立高女	筆算(整数, 諸等数, 小数), 珠算(加減乗除)	2	(分数, 諸比例, 百分算), (同)	2	同	2	(求積, 幾何初歩), (同)	2			
4 M 34	1901	石川県	筆算, 珠算	2	算術, 珠算	2	算術, 珠算	2	算術, 幾何初歩	2			
5 M 34	1901	東京女高師附属高女	整数, 小数, 分数, 比例	2	比例, 百分算	2	百分算, 雑題	2	代数初歩	2	幾何初歩	2	
6 M 35	1902	石川県立高女(第一号表)	筆算(整数, 分数, 小数) 珠算(加減乗除)	2	筆算, 比例, 珠算, 同	2	筆算, 百分算, 珠算, 同	2	筆算, 同, 幾何初歩	2			
7 M 35	1902	石川県立高女(第二号表)	算術, 幾何初歩	3	同	3							
8 M 35	1902	東京女高師附属高女	整数, 小数, 分数, 比例	2	比例, 百分算	2	百分算, 雑題	2	代数初歩	2	幾何初歩	2	
M 36	1903	高等女学校教授要目	整数及小数, 諸等数, 分数, 比及比例	2	算術の続き, 整数, 分数, 比及比例, 割合	2	算術の続き, 比及比例, 割合, 開平	2	算術の続き, (代数, 幾何)	2			
9 M 36	1903	愛知県立高女	算術	2	算術の続き	2	算術の続き	2	算術の続き, 代数, 幾何	2	算術(筆算, 珠算), 代数, 幾何	3	
10 M 36	1903	青森県立第一高女	算術, 珠算	3	同	3	同	3	筆算	3	算術, 代数初歩, 幾何初歩	3	
11 M 36	1903	宮崎県	筆算	2	筆算	3	筆算, 珠算	3	筆算, 珠算, 幾何初歩	3			
12 M 37	1904	東京府立第一高女	算術	2	算術	2	算術	2	算術	2	幾何初歩	2	
13 M 37	1904	東京女高師附属高女	整数, 小数, 分数, 比例	2	比例, 百分算	2	百分算, 雑題	2	代数初歩	2	幾何初歩	2	
14 M 38	1905	長野県松本市立高女	算術(整数及小数, 諸等数, 分数, 比及比例)	2	同(整数, 分数, 比及比例, 割合)	2	同(比及比例, 割合, 開平)	2	算術復習, 代数初歩, 幾何初歩	2			
15 M 38	1905	浦和高女	算術	2	同	2	同	2	同	2	同, 代数及平面幾何の初歩	2	
16 M 38	1905	愛知県	算術	2	算術	2	算術	2	算術, 代数, 幾何	2			
17 M 38	1905	東京女高師附属高女	整数, 小数, 分数, 比例	2	比例, 百分算	2	百分算, 雑題	2	代数初歩	2	幾何初歩	2	
18 M 39	1906	浦和高女	算術	2	同	2	同	2	同	2	同	2	
19 M 39	1906	京都第一高女	?	2	?	2	?	2	?	2	?	2	
20 M 39	1906	京都第二高女	算術	2	算術	2	算術	2	算術	2			
21 M 39	1906	東京女高師附属高女	整数, 小数, 分数, 比例	2	比例, 百分算	2	百分算, 雑題	2	代数初歩	2	幾何初歩	2	
22 M 40	1907	東京市立第一高女	整数及小数, 諸等数, 分数	2	諸等数, 級数及倍数, 分数及小数, 比及比例	2	比及比例, 歩合算, 開平	2	代数初歩, 開平	2	幾何初歩, 求積	2	
23 M 40	1907	東京府	算術	2	算術	2	算術	2	算術	2	幾何初歩	2	
24 M 40	1907	東京女高師附属高女	整数及小数, 諸等数, 分数	2	整数, 分数及小数, 比及比例, 割合	2	比及比例, 割合, 開平	2	代数初歩	2	幾何初歩	2	
25 M 41	1908	長野県松本市立高女	算術(整数及小数, 諸等数, 分数, 比及比例)	2	同(整数, 分数, 比及比例, 割合)	2	同(比及比例, 割合, 開平)	2	算術復習, 代数初歩, 幾何初歩	2			
26 M 41	1908	東京女高師附属高女	整数及小数, 諸等数, 分数	2	整数, 分数及小数, 比及比例, 割合	2	比及比例, 割合, 開平	2	代数初歩	2	幾何初歩	2	
27 M 42	1909	山形県	算術	3	算術	2	算術, 珠算	2	算術, 珠算	2			
28 M 42	1909	東京女高師附属高女	整数及小数, 諸等数, 分数	2	整数, 分数及小数, 比及比例, 割合	2	比及比例, 割合, 開平	2	代数初歩	2	幾何初歩	2	
M 44	1911	高等女学校教授要目改正											
29 M 44	1911	埼玉県	算術	2	算術	2	算術	2	算術	2			
30 M 44	1911	奈良女高師附属高女	算術	2	全学年の続	2	全学年の続	2	全学年の続, 幾何初歩	2			
31 T 1	1912	奈良女高師附属高女	算術: 命数法, 記数法, 整数及小数の四則, 四則雑題, 諸等数(度量衡: メートル法, 尺貫法), 諸等数の単位の変更, 諸等数の四則, 諸等数に関する応用問題, 既習事項の練習及珠算	2	全学年の続: 約数及倍数, 分数雑題, 比及比例, 諸論, 単比例, 複比例, 既習事項の練習及珠算	2	全学年の続: 按分比例, 混合, 比例に関する応用問題, 歩合, 利息, 歩合及利息の応用問題, 既習事項の練習及珠算	2	全学年の続, 幾何初歩	2	全学年の続: 開平その応用問題, 算術全体に関する練習問題及珠算(凡15時間), 幾何初歩: 平面幾何(直線, 円, 面積, 比例に関する重要な定理及作図題) 立体幾何(主要なる立体の体積及表面積の求め方(凡65時間))	2	
32 T 1	1912	奈良女高師附属高女	算術	2	全学年の続き	2	全学年の続き	2	全学年の続き, 幾何初歩	2			
33 T 1	1912	千葉県	算術	2	算術	2	算術, 代数初歩	2	算術, 幾何初歩	2			
34 T 1	1912	東京女高師附属高女	整数及小数, 諸等数, 分数	2	整数, 分数及小数, 比及比例, 割合	2	比及比例, 割合, 開平	2	代数初歩	2	幾何初歩	2	
35 T 2	1913	奈良女高師附属高女	算術	2	全学年の続き	2	全学年の続き	2	全学年の続き, 幾何初歩	2			
36 T 4	1915	奈良女高師附属高女	算術	2	全学年の続き	2	全学年の続き	2	全学年の続き, 幾何初歩	2			
37 T 6	1917	橋本町立橋本高女	算術, 整数及小数, 諸等数, 珠算	2	同 約数及倍数, 分数, 比例, 珠算	2	同 比例, 歩合算, 珠算	2	同 開平, 求積, 既習事項の練習, 珠算	2			
38 T 6	1917	奈良女高師附属高女	算術	2	全学年の続き	2	全学年の続き	2	全学年の続き, 幾何初歩	2	算術, 代数初歩	2	
39 T 7	1918	神奈川県立高女	算術	2	同	2	同	2	代数初歩, 幾何初歩	2	算術, 代数幾何の補習	2	
40 T 7	1918	山口県玖珂郡立岩国高女	整数及小数, 諸等数	2	約数及倍数, 分数, 比例	2	比例, 歩合算	2	開平, 求積	2			
41 T 7	1918	山口県玖珂郡立岩国高女	加減乗除	1	同	1							
42 T 7	1918	奈良女高師附属高女	算術	2	全学年の続き	2	全学年の続き	2	全学年の続き, 幾何初歩	2	算術, 代数初歩	2	
43 T 7	1918	長崎県立長崎高女	算術	2	算術	2	算術, 代数初歩	2	幾何学初歩	2			
44 T 8	1919	東京女高師附属高女	整数及小数, 諸等数, 分数	2	諸等数, 級数及倍数, 分数及小数, 比及比例	2	比及比例, 歩合算, 開平	2	代数初歩, 開平	2	幾何初歩, 求積	2	
45 T 8	1919	兵庫県立姫路高女	算術(整数, 分数, 小数)	2	同(同, 比例)	2	同(比例, 百分算)	2	同, 幾何の初歩	2			
T 9	1920	高等女学校令改正		2		2		3		3			

史料番号	年代	学校名・法令	第一学年	時数	第二学年	時数	第三学年	時数	第四学年	時数	第五学年	時数
46	T 10	1921 島根県立今市高女	算術	2	同	2	同, 代数, 幾何	3	同	3		
47	T 10	1921 奈良女高師附高女	算術	2	算術, 代数	2	代数	2	幾何	2	幾何, 算術	3
48	T 10	1921 東京女高師附高女	算術	3	代数	3	代数, 幾何	4	代数, 幾何, 三角法初歩	4	日用諸算	2
49	T 11	1922 新潟県	算術, 代数	2	代数	2	代数, 幾何	3	代数, 幾何	3		
50	T 12	1923 奈良女高師附高女	算術	2	算術, 代数	2	代数	3	代数, 幾何	3	幾何, 算術	3
51	T 12	1923 神戸女学院高等女学校	?	3	?	3	?	3	?	3	?	2
52	T 12	1923 群馬県渋川高女	?	3	?	3	?	3	?	3		※1
53	T 12	1923 成美高女	算術	2	算術, 代数	2	代数, 幾何	3	代数, 幾何	3	日用諸算	3
54	T 13	1924 和歌山市立和歌山高女	算術, 代数, 珠算	3	算術, 代数, 幾何	3	代数, 幾何	3	代数, 幾何, 珠算, 実用数学	3		
55	T 13	1924 香川県立坂出高女	算術	3	算術, 代数	3	同	3	同	3		
56	T 13	1924 香川県立坂出高女	算術	2	算術, 代数	2	算術, 代数, 幾何	3	同	3	同	2
57	T 14	1925 奈良女高師附高女	算術, 代数	3	代数, 幾何	3	代数, 幾何	2	代数, 幾何, 算術	2	数学の補習	3
58	T 14	1925 和歌山市立和歌山高女	算術, 代数, 珠算	2	算術代数	2	代数幾何	3	代数, 幾何, 実用数学	3		
59	T 14	1925 和歌山県立和歌山高女	算数一般(珠算を含む)	2	同	2	同	3	同	3	同	3
60	S 1	1926 和歌山県立田辺高女	算数一般(珠算を含む)	2	同	2	同	3	同	3		
61	S 1	1926 山梨県立山梨高女	算術	2	同	2	算術, 代数	3	算術, 幾何	3		
62	S 1	1926 千葉県	算術	2	算術, 代数	2	代数, 幾何	3	代数, 幾何	3		
63	S 1	1926 東京女高師附高女	算術	3	代数	3	代数, 幾何	4	代数幾何, 三角法初歩	4	日用諸算	2
64	S 2	1927 奈良女高師附高女	算術	2	算術, 代数	2	代数	3	代数, 幾何	3	幾何, 算術	3
65	S 3	1928 奈良女高師附高女	算術	2	算術, 代数	2	代数	3	代数, 幾何	3	幾何, 算術	3
66	S 3	1928 和歌山県立新宮高女	算数一般(珠算を含む)	2	同	2	同	3	同	3		
67	S 3	1928 和歌山県立日高高女	算数一般(珠算を含む)	2	同	2	同	3	同	3		
68	S 3	1928 和歌山県立粉河高女	算数一般(珠算を含む)	2	同	2	同	3	同	3		
69	S 3	1928 和歌山県立有田高女	算数一般(珠算を含む)	2	同	2	同	3	同	3		
70	S 3	1928 東京女高師附高女	算術	3	代数, 幾何	3	同	4	同	4	幾何, 三角法初歩, 数学概論	3
71	S 4	1929 佐世保市立成徳高女	算術; 筆算, 珠算(加減乗除)	3	同	3	以上の他代数	3	算術, 幾何	3		
72	S 4	1929 奈良女高師附高女	算術	2	算術, 代数	2	代数	3	代数, 幾何	3	幾何, 算術	3
73	S 4	1929 和歌山県立古座高女	算数一般(珠算を含む)	2	同	2	同	3	同	3		
74	S 4	1929 和歌山県立文教高女	算数一般(珠算を含む)	2	同	2	同	3	同	3		
75	S 4	1929 和歌山県立笠田高女	算数一般(珠算を含む)	2	同	2	同	3	同	3		
76	S 4	1929 和歌山県立笠田高女	算術, 代数, 珠算	2	算術, 代数	2	代数, 幾何	2	幾何, 珠算	3		
77	S 4	1929 和歌山県立笠田高女	代数, 幾何	2	幾何, 珠算	2						
78	S 4	1929 群馬県渋川高女	?	3	?	3	?	4	?	3		
79	S 4	1929 東京女高師附高女	算術	3	代数, 幾何	3	同	4	同	4	幾何, 三角法初歩, 数学概論	3
80	S 4	1930 奈良女高師附高女	算術	2	算術, 代数	2	代数	3	代数, 幾何	3	幾何, 算術	3
81	S 5	1930 梅花高女	算術, 代数	2	算術, 代数	3	代数, 幾何	3	代数, 幾何	3.5	幾何, 三角	3.5
82	S 5	1930 和歌山県立箕島高女	算数一般(珠算を含む)	2	同	2	同	3	同	3		
83	S 5	1930 和歌山市立和歌山市高女	算数一般(珠算を含む)	2	同	2	同	3	同	3		
84	S 5	1930 修徳高女	算術, 代数, 珠算	2	算術, 代数	2	代数幾何	3	代数, 幾何, 実用数学	3		
85	S 5	1930 東京女高師附高女	算術	3	代数, 幾何	3	同	4	同	4	幾何, 三角法初歩, 数学概論	3
86	S 6	1931 東京府立第一高女	算術	3	算術, 代数	3	代数	4	代数, 幾何	4	幾何, 日用諸算	2
87	S 6	1931 奈良女高師附高女	算術	2	算術, 代数	2	代数	3	代数, 幾何	3	幾何, 算術	3
88	S 6	1931 東京女高師附高女	算術	3	代数, 幾何	3	代数, 幾何	4	代数, 幾何	4	幾何, 三角初歩, 数学概論	3
89	S 6	1931 東京女高師附高女	算術	3	代数, 幾何	3	同	4	同	4	幾何, 三角法初歩, 数学概論	3
90	S 7	1932 奈良女高師附高女	算術	2	算術, 代数	2	代数	3	代数, 幾何	3	幾何, 算術	3
91	S 7	1932 和歌山県立橋本高女	算数一般(珠算を含む)	2	同	2	同	3	同	3		
92	S 7	1932 和歌山市立和歌山市高女	算術, 珠算	3	算術, 代数	3	代数, 幾何	3	同	3		
93	S 7	1932 和歌山市立和歌山市高女	算術, 珠算	3	算術, 代数, 幾何	3	代数, 幾何	3	代数, 幾何, 珠算, 実用数学	3		
94	S 7	1932 和歌山県立田辺高女	算術, 珠算	2	代数	2	代数, 幾何	3	同	3		
95	S 7	1932 和歌山県 日高高女	算術, 代数	2	代数	2	代数, 幾何	3	代数, 幾何, 実用数学	3		
96	S 7	1932 和歌山県立和歌山高女	算数一般(珠算を含む)	2	同	2	同	3	同	3	同	3
97	S 7	1932 和歌山高女	日用雑題, 開平開立, 求積法, 簿記法	4	代数幾何初歩	4						
98	S 7	1932 立教高女	算術	2	算術, 代数	2	代数	2	代数	3	代数, 幾何	3
99	S 7	1932 東京女高師附高女	算術	3	代数, 幾何	3	同	4	同	4	幾何, 三角法初歩, 数学概論	3
100	S 8	1933 奈良女高師附高女	算術	2	算術, 代数	2	代数	3	代数, 幾何	3	幾何, 算術	3
101	S 8	1933 東京女高師附高女	算術	3	代数, 幾何	3	同	4	同	4	幾何, 三角法初歩, 数学概論	3
102	S 9	1934 和歌山県 粉河高女	算術, 珠算	3	算術	3	代数	3	幾何	3		
103	S 9	1934 和歌山県立日方高女	算術, 珠算	3	算術, 代数	3	代数	3	幾何	3		
104	S 10	1935 成女高女	整数, 小数, 諸等数, 分数	3	分数, 比例, 歩合算	3	歩合算, 開平, 代数	3	歩合算, 開平, 代数	3	幾何, 日用諸算	3
105	S 10	1935 東京女高師附高女	算術	3	代数, 幾何	3	同	4	同	4	幾何, 三角法初歩, 数学概論	3
106	S 11	1936 北海道札幌高女	算術	2	算術, 代数	3	代数, 幾何	3	代数, 幾何	3		
107	S 11	1936 和歌山市立和歌山第一高女	算術	3	算術	3	代数	3	代数	3		
108	S 11	1936 和歌山市立和歌山第一高女	珠算	2	代数	3	幾何	2	幾何	4		

大正期以降における高等女学校数学教育の充実

史料番号	年代	学校名・法令	第一学年	時数	第二学年	時数	第三学年	時数	第四学年	時数	第五学年	時数
109	S 11	1936 和歌山市立和歌山第一高女	算術, 珠算	3	代数	3	代数, 幾何	3	同	3		
110	S 12	1937 和歌山市立高女	算術, 珠算	3	算術, 代数	3	代数幾何	3	同	3		
111	S 12	1937 奈良女高師附高女	算術	2	算術, 代数	2	代数	3	代数, 幾何	3	幾何, 算術	3
112	S 12	1937 経専附属高女	算術	3	算術, 代数	3	代数, 幾何	3	代数, 幾何	2	代数, 幾何及珠算	2
113	S 12	1937 東京女高師附高女	算術	3	代数, 幾何	3	同	4	同	4	幾何, 三角法初歩, 数学概論	3
114	S 13	1938 和歌山 紀南高女	算術, 整数, 小数, 諸等数	2	算術: 比例, 歩合算 代数: 代数式	2	代数; 一次二次方程式 幾何; 平行線まで	3	幾何; 三角法 算術; 日用諸算	3	珠算	1
115	S 13	1938 修徳高女	算術, 珠算	3	算術, 珠算, 代数	3	代数, 幾何	3	同	3	算術, 代数, 幾何, 和算	2
116	S 13 ?	1938 修徳高女	算術, 珠算	3	算術, 珠算, 代数	3	代数, 幾何	3	同	3		※2
117	S 13	1938 和歌山県立田辺高女	算術, 整数, 小数, 諸等数	2	約数倍数, 歩合算	2	比例, 歩合算	2	開平, 求積, 幾何初歩	2		
118	S 13	1938 修徳高女	算術, 珠算	3	算術, 珠算, 代数	3	代数, 幾何	3	同	3		
119	S 13	1938 東京女高師附高女	算術	3	代数, 幾何	3	同	4	同	4	幾何, 三角法初歩, 数学概論	3
120	S 14	1940 和歌山県立高女	算術, 代数	3	代数, 幾何	3	同	3	同	3	幾何, 実用数学, 珠算	3
121	S 14	1940 田辺高女	算術, 珠算	2	代数	2	代数, 幾何	3	同	3		
122	S 14	1940 和歌山県立新宮高女	算術, 珠算	3	算術, 代数, 幾何	3	代数, 幾何	3	同, 珠算	3		
123	S 14	1940 日高高女	算術, 代数	2	代数	2	代数, 幾何	3	代数, 幾何, 実用数学	3		
124	S 14	1940 粉河高女	珠算, 算術	3	算術, 代数	3	代数	3	幾何	3		
125	S 14	1940 橋本高女	算術, 代数, 珠算	3	同	3	代数, 幾何, 珠算	3	同	3		
126	S 14	1940 有田高女	算術, 珠算	3	算術, 代数	3	代数, 幾何	3	同	3		
127	S 14	1940 日方高女	算術, 珠算	3	算術, 代数	3	代数	3	代数	3		
128	S 14	1940 古座高女	算術, 代数, 珠算	3	代数, 珠算	3	代数, 幾何, 珠算	3	同	3		
129	S 14	1940 共立高女	算術	2	代数, 幾何	2	代数, 幾何	3	代数, 幾何	3	幾何	3
	S 17	1942 数学及び理科教授要目	数量と式, 図形の書き方	2	図形の合同, 図形の移動と回転, 正数・負数, 一次方程式	2	分数式, 平行と相似, 平方と平方根, 直角三角形, 二次方程式	3	円と球, 自然数と級数, 系列の観察処理, 投影図	3	連続的変化の考察処理, 統計図表の考察, 日用諸算	3
130	S 17	1942 浦和第一高女	?	2	?	3	?	3	?	2	?	※1
131	S 17	1942 和歌山県 古座高女	算術, 珠算	3	同 代数	2	代数, 幾何	3	同	3	算術, 代数, 幾何, 珠算, 簿記	3
132	S 17	1942 和歌山県 粉河高女	算術, 珠算	3	算術	3	代数	3	幾何	3		
133	S 17	1942 和歌山県 高女	算術, 珠算	3	算術, 代数	2	代数	3	代数, 幾何	3	代数, 総復習	3
134	S 17	1942 和歌山県 田辺高女	算術, 珠算	2	代数	2	代数, 幾何	3	同	3		
135	S 17	1942 和歌山県 新宮高女	算術, 珠算	3	算術, 代数, 幾何	3	代数, 幾何	3	同 珠算	3		
136	S 17	1942 和歌山県 日高高女	算術, 珠算	2	代数, 珠算	2	代数, 幾何	3	幾何, 算術, 珠算	3		
137	S 17	1942 和歌山県 粉河高女	算術, 珠算	3	算術, 代数	3	代数	3	幾何	3		
138	S 17	1942 和歌山県 橋本高女	算術, 珠算	3	算術, 代数	3	代数, 幾何	3	幾何, 代数	3		
139	S 17	1942 和歌山県 有田高女	算術, 珠算	3	算術, 代数	3	代数, 幾何	3	幾何, 代数	3		
140	S 17	1942 和歌山県 日方高女	算術, 珠算	3	算術, 代数	3	代数	3	幾何	3		
141	S 17	1942 和歌山県 日方高女	算術, 珠算	3	算術, 代数	3	代数, 幾何	3	幾何	3		
142	S 17	1942 和歌山市立第一高女	算術, 珠算	3	代数	3	代数, 幾何	3	同	3		
143	S 17	1942 和歌山市立第二高女	算術, 珠算	2	同	2	代数	3	幾何	3		
144	S 17	1942 和歌山県 紀南高女	算術, 整数, 小数, 諸等数	2	算術: 比例, 歩合算 代数: 代数式	2	代数; 一次二次方程式 幾何; 平行線まで	3	幾何; 三角法 算術; 日用諸算	2	珠算	1
145	S 17	1942 修徳高女	算術, 珠算	3	算術, 珠算, 代数	3	代数, 幾何	3	同	3		
146	S 17	1942 修徳高女	算術, 珠算	3	算術, 珠算, 代数	3	代数, 幾何	3	同	3		
147	S 17	1942 修徳高女	算術, 珠算	3	算術, 珠算, 代数	3	代数, 幾何	3	同	3		
148	S 17	1942 修徳高女	算術, 代数, 珠算	3	算術, 代数	3	代数, 幾何	3	代数, 幾何, 実用数学	3		
149	S 17	1942 修徳高女	算術, 代数, 珠算	3	算術, 代数	3	代数, 幾何	3	代数, 幾何, 実用数学	3		
	S 18	1943 高等女学校教科教授及修練指導要目	数量と式, 図形の書き方, 対称・回転・合同	3	正の数・負の数, 一次関数, 平行と相似, 直角三角形	3	二次関数, 投影図	2	統計と率	2		
			一次関数と二次関数, 投影図	2	統計と率	2						
150	S 19	1944 奈良女高師附高女	算術	2	算術, 代数	2	代数	3	代数, 幾何	3	幾何, 算術	3
151	S 19	1944 奈良女高師附高女(第二部)	算術, 代数	2	代数, 幾何	2	代数, 幾何	3	代数, 幾何, 算術	3	同	2
152	S ?	? 修徳高女	算術, 代数, 珠算	2	算術, 代数	2	代数幾何	3	代数, 幾何, 実用数学	3		※3

※1 方法0によるもので櫻井において未確認。筆者も確認することができなかった。

※2 115と同年のものと思われる。

※3 年度を確認することはできなかった。

表B：記載史料名とその調査方法

史料番号	記載史料名	方法	史料番号	記載史料名	方法
1	青森県立第一高女一覽	1	77	(和歌山県立笠田高女関係文書)	2
2	創立七十周年記念誌 松? (千葉県立千葉女子高女)	0	78	淡女60年誌	0
3	長野県松本市立高女一覽	1	79	東京女子高等師範学校一覽	1
4	石川県立高女一覽	0	80	奈良女子高等師範学校一覽	1
5	創立五十年(東京女子高等師範学校附属高女)	0	81	梅花学園九十年小史	0
6	石川県立高女一覽	1	82	学則(昭和17年)(三冊ノ二)	2
7	石川県立高女一覽	1	83	学則(昭和17年)(三冊ノ二)	2
8	東京女子高等師範学校一覽	1	84	学則(昭和17年)(三冊ノ二)	2
9	愛知県立高女一覽	1	85	東京女子高等師範学校一覽	1
10	青森県立第一高女一覽	1	86	本校の現状	1
11	宮崎県立高女一覽	0	87	奈良女子高等師範学校一覽	1
12	東京府立第一高女一覽	1	88	創立五十年(東京女子高等師範学校附属高女)	0
13	東京女子高等師範学校一覽	1	89	東京女子高等師範学校一覽	1
14	長野県松本市立高女一覽	1	90	奈良女子高等師範学校一覽	1
15	埼玉県女子師範・浦和高女一覽	1	91	学則(昭和17年)(三冊ノ二)	2
16	愛知県立高女一覽	0	92	和歌山県高等女学校学則	2
17	東京女子高等師範学校一覽	1	93	和歌山県高等女学校学則	2
18	埼玉県女子師範・浦和高女一覽	1	94	和歌山県高等女学校学則	2
19	京都修学案内	0	95	和歌山県高等女学校学則	2
20	京都修学案内	0	96	和歌山県立和歌山高等女学校要覽	2
21	東京女子高等師範学校一覽	1	97	和歌山県高等女学校規則	2
22	東京市立第一高女一覽	1	98	立教女学院百年史資料集	0
23	東京府立第一高女一覽	0	99	東京女子高等師範学校一覽	1
24	東京女子高等師範学校一覽	1	100	奈良女子高等師範学校一覽	1
25	長野県松本市立高女一覽	1	101	奈良女子高等師範学校一覽	1
26	東京女子高等師範学校一覽	1	102	和歌山県高等女学校規則	2
27	山形県立鶴岡高女一覽	0	103	和歌山県日方高女学則	2
28	東京女子高等師範学校一覽	1	104	成女高女一覽	0
29	埼玉県立熊谷高女一覽	0	105	東京女子高等師範学校一覽	1
30	奈良女子高等師範学校一覽	3	106	北海道庁立札幌高女一覽表	0
31	奈良女子高等師範学校附属高等女学校一覽	3	107	(和歌山市立第一高女関係文書)	2
32	奈良女子高等師範学校一覽	1	108	(和歌山市立第一高女関係文書)	2
33	創立七十周年記念誌 松? (千葉県立千葉女子高女)	0	109	和歌山市立第一高女学則	2
34	東京女子高等師範学校一覽	1	110	和歌山市学事要覽	1
35	奈良女子高等師範学校一覽	1	111	奈良女子高等師範学校一覽	1
36	奈良女子高等師範学校一覽	1	112	東京文化学園五十年史	0
37	和歌山県伊都郡橋本町立高等女学校一覽表	4	113	東京女子高等師範学校一覽	1
38	奈良女子高等師範学校一覽	1	114	(和歌山 紀南高女関係文書)	2
39	神奈川県立高女一覽	1	115	修徳高女学則	2
40	山口県玖珂郡立岩国高女一覽	1	116	修徳高女学則	2
41	山口県玖珂郡立岩国高女一覽	1	117	和歌山県立田辺高女規程	2
42	奈良女子高等師範学校一覽	1	118	修徳高女学則	2
43	長崎県立長崎高女一覽	1	119	東京女子高等師範学校一覽	1
44	東京女子高等師範学校附属高女年報	1	120	和歌山県令規類纂	2
45	兵庫県立姫路高女一覽	1	121	和歌山県令規類纂	2
46	島根県女子師範学校・島根県立今市高女一覽	1	122	和歌山県令規類纂	2
47	奈良女子高等師範学校一覽	1	123	和歌山県令規類纂	2
48	創立五十年(東京女子高等師範学校附属高女)	0	124	和歌山県令規類纂	2
49	新潟県立相川高女要覽	0	125	和歌山県令規類纂	2
50	奈良女子高等師範学校, 第三臨時教員養成所一覽	3	126	和歌山県令規類纂	2
51	神戸女学院高等所学女学部一覽	4	127	和歌山県令規類纂	2
52	淡女60年誌	0	128	和歌山県令規類纂	2
53	東京文化学園五十年史	0	129	共立女子学園七十年史	0
54	中等学校学則並組織變更習得学園・技芸女学校廃止	2	130	埼玉県立浦和第一高女一覽	0
55	香川県立坂出高女一覽	1	131	和歌山県 古座高女学則	2
56	香川県立坂出高女一覽	1	132	和歌山県高等女学校規則	2
57	奈良女子高等師範学校, 第三臨時教員養成所一覽	3	133	和歌山県高等女学校規則	2
58	中等学校専攻科設置廃止ノ件	2	134	和歌山県高等女学校規則	2
59	学則(昭和17年)(三冊ノ二)	2	135	和歌山県高等女学校規則	2
60	学則(昭和17年)(三冊ノ二)	2	136	和歌山県高等女学校規則	2
61	山梨県女子師範学校山梨県立山梨高女一覽	1	137	和歌山県高等女学校規則	2
62	東金高校の歴史2巻	0	138	和歌山県高等女学校規則	2
63	東京女子高等師範学校一覽	1	139	和歌山県高等女学校規則	2
64	奈良女子高等師範学校一覽	1	140	和歌山県高等女学校規則	2
65	奈良女子高等師範学校一覽	1	141	和歌山県高等女学校規則	2
66	学則(昭和17年)(三冊ノ二)	2	142	和歌山県高等女学校規則	2
67	学則(昭和17年)(三冊ノ二)	2	143	和歌山県高等女学校規則	2
68	学則(昭和17年)(三冊ノ二)	2	144	和歌山県高等女学校規則	2
69	学則(昭和17年)(三冊ノ二)	2	145	和歌山県高等女学校規則	2
70	東京女子高等師範学校一覽	1	146	和歌山県高等女学校規則	2
71	佐世保市立成徳高女一覽	1	147	和歌山県高等女学校規則	2
72	奈良女子高等師範学校一覽	1	148	和歌山県高等女学校規則	2
73	学則(昭和17年)(三冊ノ二)	2	149	和歌山県高等女学校規則	2
74	学則(昭和17年)(三冊ノ二)	2	150	奈良女子高等師範学校一覽	1
75	学則(昭和17年)(三冊ノ二)	2	151	奈良女子高等師範学校一覽	1
76	(笠田高女関係文書)	2	152	和歌山県高等女学校規則	2

〔方法〕欄 (0)櫻井によるもの25点 (1)各学校で作成される「○○高等女学校一覽」などを多数閲覧できる国立国会図書館近代デジタルライブラリーにて59点 (2)地元の史料を多く保存している和歌山県立公文書館にて62点 (3)附属高等女学校の史料の閲覧できる奈良女子大学附属図書館にて4点 (4)「高等女学校史料集成」や地域の学校の周年行事などから得たその他2点